

Title	ソフトドリンクの自販機販売オペレーションに関する問題分析とその対策 - ビジネスゲームを活用した教育訓練ツールの開発 -
Sub Title	
Author	石踊卓也(Ishiodori, Takuya) 柳原一夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1996
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1996年度経営学 第1234号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1234

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

石踊 卓也

主査 柳原 一夫

(東京コカ・コーラボトリング株式会社) 副査 河野 宏和

國領 二郎

所属

柳原 一夫 研究室

ソフトドリンクの自販機販売オペレーションに関する問題分析とその対策

—ビジネスゲームを活用した教育訓練ツールの開発—

従来のソフトドリンクビジネスにおける自販機販売オペレーションは、自販機それ自体の機能が不特定多数の消費者に対する無人の販売媒体という特性から、その販売メカニズムには未だ未解明な部分が多い。そのため効果的な販売システムの構築は、多くの企業において重大なテーマとして認識されているものの検討は後回しになってきたのが現状である。

しかし、昨今の消費多様化の時代を迎え、小売り流通の業種・業態構造の変化や異業種からの参入といった産業を取り巻く環境の変化は消費財市場にも大きく影響している。このため自販機ビジネスにおいても時代のニーズに合致したシステムの再構築が急務となっている。

一方、現在における情報技術の発達は、自販機の販売に関する膨大な情報の収集・蓄積・分析や販売計画の策定といった一連の情報処理のシステム化を可能にした。しかしながらこれらの情報を有効に現場で活用するためには、オペレーションを管理するマネージャーの能力が極めて重要である。従って本研究では、こうした背景を踏まえてソフトドリンクの自販機販売オペレーションに関する問題分析とその対策を考慮した上で、実務教育訓練ツールすなわちビジネスゲーム及びアプリケーションソフトの開発を行うこととした。これは自販機の効率的販売のためには販売管理者の教育研修が重要であるという認識によるものである。

販売管理者は、商品・機材・人員等の計画や販売スケジューリングといった自販機販売に関わる意思決定内容をビジネスゲームの実施を通じて疑似体験できる。

本格的なネットワーク時代を迎え、企業が新しい時代に対応するためには「情報」をキーワードとした販売システムの確立は不可欠であり、本研究は企業が販売システムの再構築を行う際、その方向性を検討するツールとしても活用できる。